北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	質的社会調査論A（旧IT&メディアA）	科目コード	1607	単位数	2
担当者名	佐藤　千歳	開講セメスター	第1セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BLl111	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

商学科や観光産業学科の学修や研究で必要な社会調査の方法の基礎を身につけるため、インタビュー調査で情報を集め、集めたデータを分析して分かりやすく伝えるための考え方と方法を学びます。

到達目標

1）インタビューの手法による基礎的な質的調査計画を立案できる。
2）質的調査で集めたデータの分析方法を理解し、実践できる。
3）インタビューによる質的調査の結果を「調査報告書」にまとめられる。
4）聞き手の立場に立ったプレゼンテーションを行うことができる。

授業内容

1週目 質的調査とはなにか。
2週目 テーマとリサーチクエスチョンの設定
3週目 インタビューの調査計画の立案方法。調査（取材）者が留意すべき調査倫理。
4週目 リサーチクエスチョンに基づく資料調査
5週目 資料調査の発表。調査計画の立案
6週目 質的調査の実施
7週目 調査記録の作成。質的調査で得られたデータの分析法
8週目 調査記録の発表。データ分析の実践：コードを用いた分析で抽出した概念の相互関係の分析
9週目 データの分析結果の発表
10週目 調査報告書の作成方法
11週目 グループディスカッションによる調査報告書の検討と作成
12週目 フィールドワーク：ジャーナリストの視点から語る社会調査
13週目 履修者による調査報告書のピアレビュー
14週目 調査報告書の再作成
15週目 調査報告書の発表と相互評価
16週目 やむを得ず15週までの内容を実施できなかった場合のみ補講授業

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業でインタビューによる調査の実施と調査結果の分析に向けた課題を実施します。授業時間以外に、毎週、少なくとも１時間以上の予習が必要です。また調査の実施と調査報告書の作成に、授業の終了後に2時間以上の作業が必要です。

成績評価の方法・基準

調査計画書（10%）、調査記録（20%）、分析結果のレポート（30%）調査報告書（30%）、授業への貢献（10%）により評価します。

履修上の留意点

1）調査計画書と調査記録、調査報告書を期限内に提出した履修者のみ、成績評価の対象とします。
2）教室での講義のほかに、あなた自身が調査を行い、結果を報告書にまとめる課題を実施します。家庭でも十分な学習時間を確保してください。
3）病気やケガの療養や就職活動を理由に欠席する場合は、所定の欠席届と、その内容の根拠となる書類を提出してください。
4）授業に関する連絡や課題の提出・返却はmanabaを用いて行います。毎回の授業の前後に確認してください。
5）授業の出席は、授業への参加と課題提出の両方を必要とします。例えば、授業には参加したが課題を提出しなかった場合やその逆は出席になりません。
6）ノートパソコンまたはタブレットを使用します。持っている人は、学内Wifiに接続できる設定を済ませたうえで持参してください。

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーションや毎回の授業の課題は、履修者間のピアレビューと教員による個別の改善指導を返却時に行います。
調査報告書は、教員による個別の改善指導を返却時に行います。

テキスト

谷富夫ほか編著『よくわかる質的社会調査　プロセス編』（ミネルヴァ書房、2010年出版）　2750円。

参考書

小熊英二『基礎からわかる論文の書き方』（講談社、2022年出版）1320円

更新日付

2026/02/26 06:12